

陳 情 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	2 2 6	受 理 年 月 日	令 和 3 年 3 月 15 日
件 名	コロナ禍における小学校の環境改善		
要 旨	<p>私たちは京都市立藤ノ森小学校5年生の保護者である。昨年6月にも陳情書を提出した。4年生まで1クラス25名、26名、27名の3クラスであったが、5年生では途中、転校生もあり39名、39名の2クラスという編成になった。この人数は、通常でも教室がとても過密で、机と机の間隔が非常に狭くぎゅうぎゅう詰めの状況であった。</p> <p>そのうえ、新型コロナウイルスが世界中に流行し、まだ収束を迎えておらず、3密を避ける（特に2メートル（少なくとも1メートル）は空ける）等が叫ばれている中、1クラスの数が多すぎることに對して、それとは程遠い環境にたくさんの保護者が大きな不安を抱えていた。そのような中で子供たちは日中のほとんどの時間を過ごさなければいけなかった。</p> <p>学校側としても努力はしていただいたが、現状ではできることに限りがあったと思われる。密な状態はもちろんだが、この環境で過ごした1年間は子供たちも先生方も本当に大変だったと思う。</p> <p>については、新年度が始まるに当たり変異株への不安もある中、感染予防の面でも密集、密接回避や子供一人一人へのきめ細かな支援をするために、6年生では是非、3クラスのクラス編成が採れるよう教職員を増やしていただくよう再度強く願う。また、担任の先生の負担が少しでも軽減でき、児童と向き合う時間を確保するためにも、新年度からの早急な対応を願う。</p>		
陳 情 者			
回付委員会	教 育 福 祉 委 員 会		

